

TEL 233 340 000  
FAX 224 313 684  
Email Jschool @volny.cz

# VLTAVA

## 学校教育目標

「自ら学び 共に学ぶ 豊かな心と国際性あふれる たくましい児童生徒の育成」

## 目指す子ども像

「かしこい子・やさしい子・たくましい子・世界で生きる子」

## 感謝の気持ち

校長 齊藤 仁

(3月1日全校集会での話)

おはようございます。

いよいよ3月に入りました。今日は全校集会で最後のお話しになります。ですから「終わり」に向けての話をしましょう。

一つの区切りの時が近づいています。あと一か月で、全員が今の学年が終わり新しい学年に上がります。そして、特に小学6年生は中学生に、そして中学3年生は小学校中学校の9年間を終えてそれぞれがバラバラに自分の道を進み始める時です。また、プラハ日本人学校から別の学校へ転校する人もいます。

3月はそんな区切りの時ですから自分のことで精いっぱいになりがちですが、少し落ち着いて自分の周りを振り返り、感謝の気持ちを育ててほしいと思います。この1年で自分が成長したと思う人はどれくらいいますか。その成長に付き合ってくれたたくさんの「もの」や「ひと」がみんなの周りにはいるはずですよ。

まずは、「もの」への感謝の気持ちから。たぶん、みんなは自分のまわりの人間だけじゃなくて、「もの」ともいっしょに生活をしてきました。例えば、1年間使い続けた机といす。授業中のうれしいことや悔しいこと、全部知っています。そして教室や校舎、小さな体育館やグラウンド。声は出さないし、たずねても答えてくれないけれど、みんなのことを応援してくれたんだと思います。いつもいっしょだった鞆やランドセル。ふで箱はみんなの勉強の様子を一番知っています。こうした身の回りのものには「ありがとう、来年もよろしく」という気持ちと同時に、もう使わなくなるものには「ありがとう、お世話になりました」と言って、次に使う人のために、きれいにしておいてください。これから掃除の時間だけでなく、そんな気持ちで生活してほしいと思います。汚れてい

たり、こわれていたりしたら、すぐに掃除をしたり、きれいにしたり、直してあげてください。そうしたみんなの気持ちが「もの」にも伝わって、次に使う人を温かく迎えてくれると思います。プラハ日本人学校を温かい気持ちでいっぱいにしましょう。

そして、人への感謝の気持ちです。この1年間いっしょに生活をしてきた人への感謝の気持ちを伝えましょう。クラスの仲間、学校の上級生下級生、そして先生、もちろん家族や兄弟、さらには自分を支えてくれたいろいろな人への感謝の気持ちが大切です。感謝の気持ちは、たった一言の「ありがとう」だけかもしれませんが、その一言を話そう伝えようと思うことが大切なんです。感謝の気持ちを持つ人は、自分への感謝の気持ちも素直に喜ぶことが出来ます。そして、感謝の気持ちは、自分をさらに成長させます。3月16日の卒業式、17日の修了式の時、「ああ、このことをやっておけばよかった」「この気持ちを伝えておけばよかった」ということがないようにしてくださいね。1年の終わりにむけて、感謝の気持ちについてお話ししました。

### 教員異動のお知らせ

今年度の3月をもって、次の5名の教員が派遣期間を終了しますのでお知らせいたします。

教頭 新谷 太郎

教諭 上園 悦史 木全 恵美子

中川 鎮孝 益野 可奈子